

今年度の主な取り組み

「第6次荒尾市総合計画」で定めた市の将来像「人がつながり幸せをつくる快適未来都市」の実現に向けて、重点戦略「あらお未来プロジェクト」に沿った施策を、積極的に推進していきます。

切れ目のない充実した 子育て環境をつくる

- 子ども医療費助成拡充事業・・・1,552万2千円
- 青少年国際交流推進事業・・・699万4千円
- 子ども食堂支援事業……………60万円

誰もがつながりを持ち、健康で いきいきとした暮らしをつくる

- 新病院建設関連事業・・・65億7,579万1千円
- スマートヘルスケアサービス事業2億170万円
- 新荒尾市立図書館開館1周年記念事業……………100万円

雇用の確保と所得の向上で 安定した暮らしをつくる

- 農水産物販路拡大推進事業・・・1,549万7千円
- 特産品開発事業……………297万9千円
- 農水産物地産地消推進事業……………248万円

あらおファンを増やすとともに、 移住しやすい環境をつくる

- 荒尾市移住促進事業……………790万円
- 民俗文化財伝承・活用等事業・・・470万7千円
- 宮崎兄弟生家開館30周年記念事業……………181万5千円

先進的で持続可能なまちをつくる

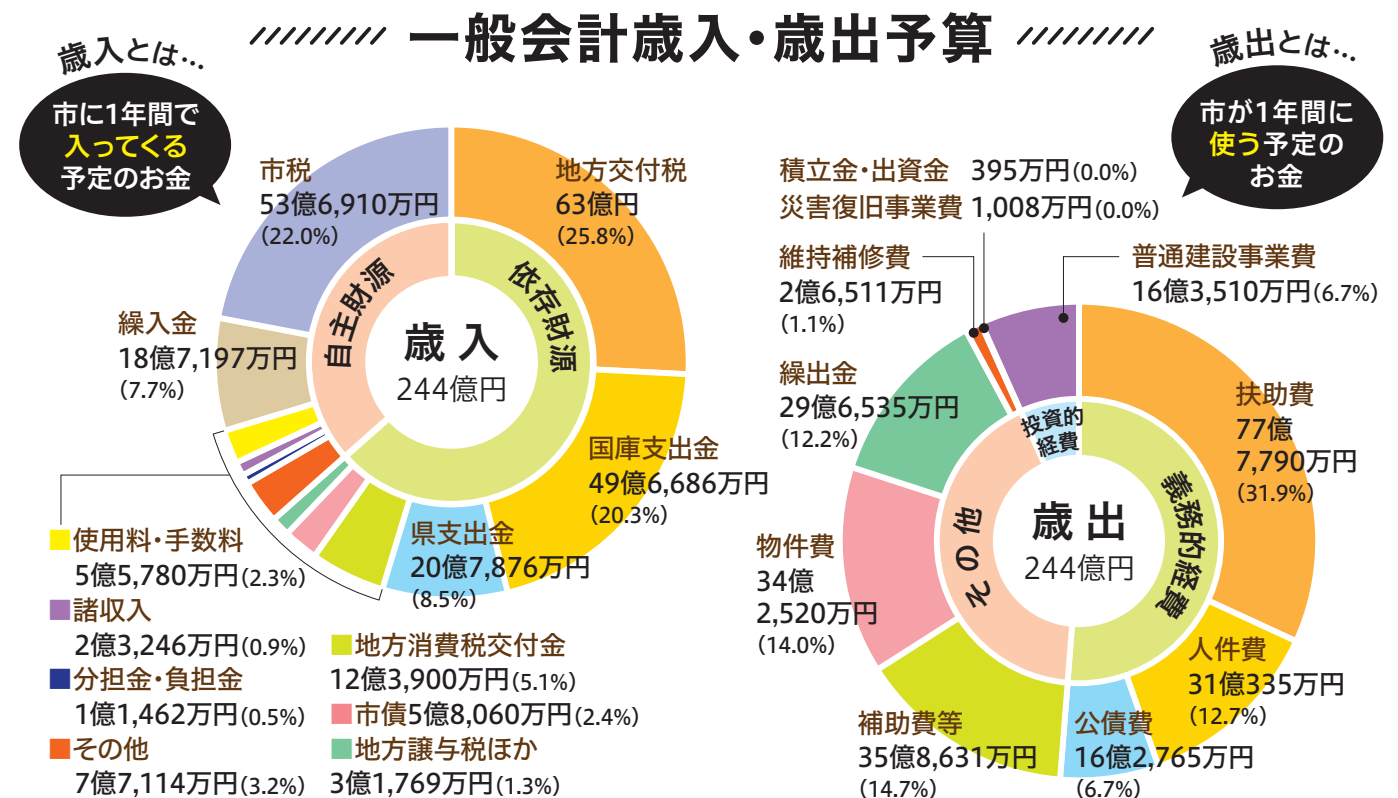
- 地球温暖化対策事業……………2億5,919万6千円
- 荒尾駅周辺地区整備事業・・・6,146万5千円
- 住民票等コンビニ交付事業……………644万円



あらお未来プロジェクトの5つの柱「切れ目のない充実した子育て環境をつくる」「誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる」「雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる」「あらおファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる」「先進的で持続可能なまちをつくる」に沿って予算を編成しました。

一般会計当初予算 244億円

前年比:2億4千万円(約1.0%)の減



用語説明【歳入】

- 依存財源** 国や県によって額が決められ、配分されるお金
- 自主財源** 市が自主的に収入できるお金
- 地方交付税** 市町村が一定の行政サービスを保てるよう、一定の基準で国が配分するお金
- 国庫(県)支出金** 特定の事業を行うために、国や県から交付されるお金
- 市債** 道路整備など、大きな事業を行うときに国や銀行から借り入れるお金
- 地方消費税交付金** 地方消費税を財源に交付されるお金
- 線入金** 基金(市の貯金)などから繰り入れるお金
- 市税** 市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・入湯税。市の財政上最も重要な財源

用語説明【歳出】

- 義務的経費** 人件費や扶助費、公債費で、支出が義務付けられているお金
- 投資的経費** 普通建設事業費(道路や施設の建設や改修など)に使われるお金
- 扶助費** 生活保護、高齢者・障がい者支援などの福祉、医療にかかる経費
- 人件費** 職員の給与や手当など
- 公債費** 市の借金返済のための経費
- 補助費等** 市民団体などへの補助や関係団体への負担金
- 繰出金** 特別会計の必要経費の補てんなどにかかる経費
- 物件費** 光熱水費、消耗品費、委託料など
- 普通建設事業費** 公共施設やインフラ施設の整備にかかる経費

特別会計・企業会計予算

特別会計	令和5年度	前年比増減率
国民健康保険特別会計	73億5,285万円	1.1%減
後期高齢者医療特別会計	9億4,437万円	3.4%増
介護保険特別会計	57億5,448万円	6.0%減
南新地土地地区画整理事業特別会計	6億8,032万円	58.0%減

企業会計	令和5年度(収益的支出)	前年比増減率
水道事業	11億3,834万円	4.7%増
下水道事業	13億4,818万円	1.1%減
病院事業	87億3,987万円	22.0%増

災害に強い病院の実現

① 建物

- 地震に強い基礎免震構造を採用
(新病院棟の耐震安全性は最上位等級)
- 豪雨時に院内に浸水させない防潮扉を
道路から2mの高さに配置

② 設備

- 一次エネルギー(電気・ガスなど)が途
絶えても医療機能を継続可能(電気・給
排水・3日間運転可能)
- 浸水の恐れのない屋上に電気室や非常
用自家発電機などを設置
- 耐震性の高い中圧ガスの引込みを行い、
ガスコージェネレーションシステムを導入。電源容量の増強や燃料の多重化を
実現し、省資源化で環境負荷の低減に
も貢献
- 講堂や外来待合ホールに医療ガスや非
常電源を設置

③ 支援活動

- 災害時は正面玄関前の大庇下を傷病者
の症状の程度により振り分けるトリアー
ジスペースとして活用
- 講堂は災害時の院内災害対策本部とし
て利用しやすいように外部(大庇)に面
して配置
- DMAT(災害派遣医療チーム)の活動や
大型のヘリが着陸できる障害物のない
駐車場を整備



免震装置(球面すべり支承)

地震発生時、地面が大きく揺れても、免震装置が振り子のように移動することで、地震エネルギーを吸収しながら建物を元の位置に回復します。

地震で地面が大きく揺れても、建物は小さな揺れで済むため、医療行為が継続できます！

LIVE

市民病院のホームページ(外部リンク)から工事の進捗状況を
24時間LIVE中継で見ることができます。



新・荒尾市民病院 お知らせ便

荒尾市民病院は10月より「荒尾市立有明医療センター」へと生まれ変わります！

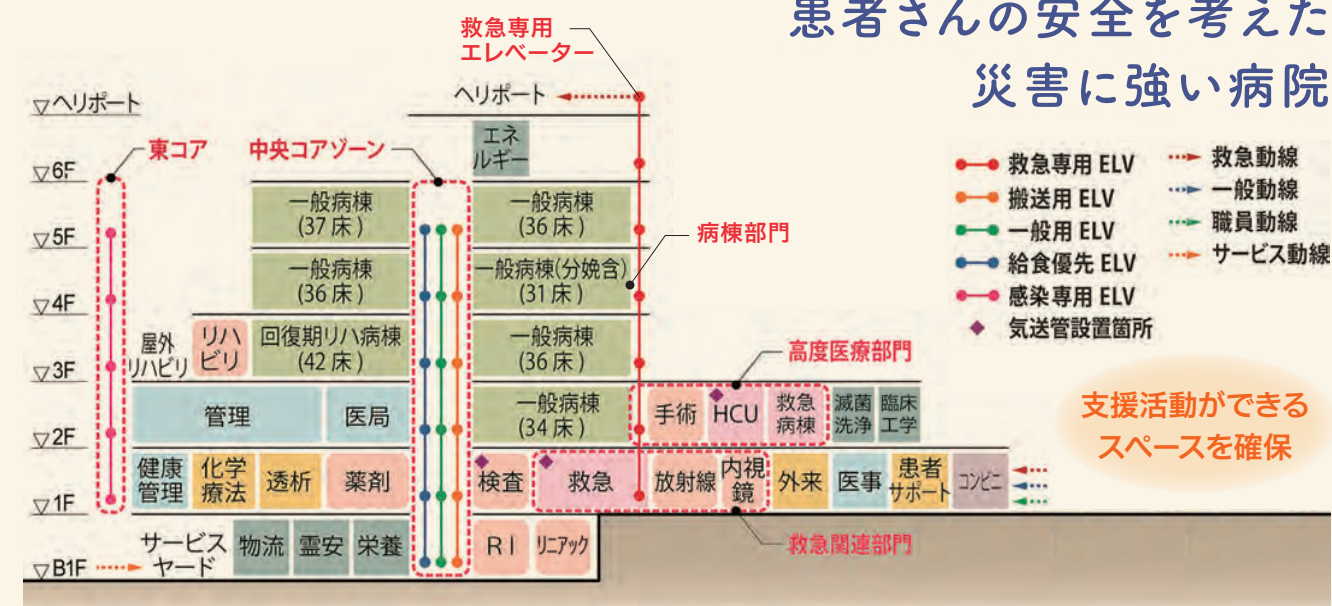
新病院を紹介します！

今年10月の新病院開院へ向け、工事進捗状況としては、建物の骨格となる躯体工事が完了し、外装・内装・設備工事などの仕上げを行っています。昨年11月号掲載の第4回では、新病院の「病棟部門」を紹介しましたが、第5回は災害拠点病院としてどのように地域を支えていくのかといった「災害対策」について紹介します。



▲ 南東側からのイメージ

災害時でも医療を提供できる
患者さんの安全を考えた
災害に強い病院



支援活動ができる
スペースを確保